

IGF2016全体概要

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
インターネット推進部・IP事業部 奥谷泉



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Internet Governance Forum (IGF)とは

- インターネットガバナンスに関するグローバルな議論の場
- WSISチュニスアジェンダ(2005)がきっかけ
- 国連主催、誰でも参加可能
- マルチステークホルダを軸とした対話重視
 - 異なる立場の関係者が特定の課題に対して、それぞれの立場の見解を共有・議論し、理解を深める
 - 市民社会、学術、政府、民間、技術コミュニティ
 - 交渉、決議の場ではない
- プログラム選定 =
- Multistakeholder Advisory



UN-DESA=国連経済社会局

JP
NIC Group(MAG)が行う

IGF2016を取り巻く環境

- **活動年限の2025年まで承認を受け(2015年12月国連総会)、国連経済社会局(UN-DESA)も今まで以上にコミット**
- **IGFの長期的な改善に向けた意見募集**
 - 各ステークホルダーの代表者が集まり改善案ドラフト策定@NY国連本部(2016年7月)
 - 改善案ドラフトへのオンラインでの意見募集
 - IGF2016でメインセッションを設けて議論(Day4)
- **新チェア：Lynn St.Amour氏**
 - 初民間出身、女性のチェア(元ISOC CEO)



IGF2016

- **開催期間**：2016年12月6-9日(12月5日：Day0)
- **ホスト国**：メキシコ
 - 国内でICT推進、アクセス提供充実
 - インターネットガバナンスでの存在感向上
- **参加者**：2000名以上
- **セッション数**：合計229(Day0含む)
 - 96が公募に基づいたセッション
- **リモート参加、セッション動画、Transcript提供**



Victor
Lagunes



Yolanda
Martinez

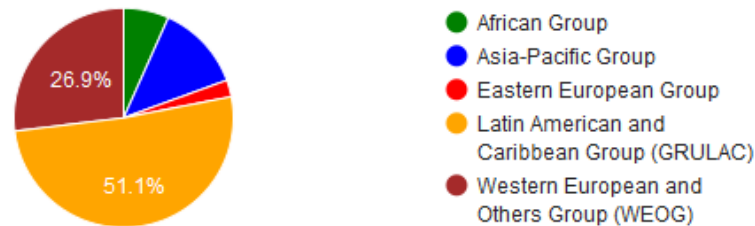
IGF事務局、MAGと共に
準備を進めてきた
メキシコ政府担当者



参加者の傾向：地域別

- **50%以上が南米・カリブ海からの参加者**
 - 国別順位：米国、メキシコ、ナイジェリア、ブラジル、インド、キューバ、英国、中国、**日本**...等

Regional Group of Onsite Participants



- **APAC地域(262名 12.8%)**
 - 中国、インドネシア：参加が積極的
 - 韓国はKISAがスポンサーし政府・民間のDelegation
 - インドもDelegationを予定、しかし直前に中止
 - 日本からはセッション応募、登壇数が例年以上

参加者の傾向：ステークホルダ別

- **最も多いのは市民社会(半数弱)、次いで各国政府・政府間機関、民間、技術コミュニティ**

Stakeholder Group of Onsite Participants



- **今回は、欧州議会の議員が複数参加**
- **WEFもOpen Forum開催含め、前向きな関与**
 - 他：WIPO、UNESCO、OECD、世界銀行、UNESCO

今年の主な取り組み

- **Intersessional Workの継続：テーマ別に事前にオンラインで議論を積み上げる**
 - Best Practices Forum：テーマごとに文書策定、公開
 - Dynamic Coalition：16のテーマを各自継続的に議論
 - Horizontal Theme: CBN II (詳細P.7)
- **National Regional IGF (NRI)活動への重点**
 - 「NRIメインセッション」開催、「NRIブース」設置、NRI設立・運用ガイドライン文書策定(NIR Toolkit)
 - 日本からは「Japan-IGF」として登壇：高松さん
 - 準備に向けて専用のMLとテレカンで議論
 - 今後：各NRI紹介パンフレット作成の案もある

初参加者対応の充実：詳細香月さんより紹介

IGF2016のメインテーマ

- **Enabling Inclusive and Sustainable Growth**
 - 国連持続可能な開発目標(SDG)との親和性
 - 「途上国へのアクセス提供」はセキュリティと共に引き続き重視
- **メインテーマに関連し、Horizontal Themeは「Connecting the Next Billing Phase II」(CNB II)**
 - グローバル、地域、国別IGF共通でフィードバックできるテーマとして支持された
 - WEFの取り組み「Internet Access for all」とも協調できるテーマ
 - オンラインで議論、文書策定、意見募集を実施

テーマの特徴

- **メインセッションのテーマ**

- 貿易政策、Youth Engagementが新たに浮上
 - 他：SDG、人権、NRI、BFPとConnecting the Next Billion Online、IGFの改善

- **WSセッションで取り扱われたテーマ(数)順**

- 言論の自由、アクセスと多様性、SDGs、サイバーセキュリティ、人権、プライバシー

- **Best Practices Forum**

- IPv6、IXPs、Gender and Access、Cybersecurity

- **Securityはメインセッションは引き続き着目**

- BFP-Cyber Security、他複数のセッションあり

- **他、IoTに関するセッションあり**

Q&A

